

1 生活

分野	模造紙上のメモ	全体セッションでの参加者の感想
(1) コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 瓜連全体で夏祭りがしたい！ ・ お祭り=文化、芸能 ・ 山車も出て良い祭りである ・ 地域からもち上げる ・ 戸多地区 まちカフェ 今年もよろしくね ・ 自治会入会者等(非入会者…)について ・ 自治会に入っていない世帯がある 行政がかかわる時？ ・ 学校はなくなったが、住民は捨てたもんじゃない 頑張っている ・ 個人情報壁→民生委員だけでは地域を見きれない→地域で助け合うべき ・ 学校がなくなると地区の核がなくなる(行事も)→新しい形のつながりを模索 ・ 五台地区は子ども会が増えている！ ・ 自治会・子ども会に入らない理由 ・ 面倒くさい、おっくう→地域活動、人とのつながりが… ・ 転入(中宿) 地元を知らない→老人会入会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者でも安心して安全に生活できる環境づくりについて、住民の意識がまだまだ低いので、自治会やまちづくり委員会の協力をお願いしたい。 ・ 環境、道路、不法投棄、そういうことを地域ごとに住民参加でやっていかなければならないと思う。 ・ 地域の人々が、毎日、会話を楽しみながら生活できる地域が良いと思う。 ・ 各地区のお祭りなどを一つの交流の場にすると、人と人のつながりができてくると思う。 ・ 若い人と高齢者が一緒になってまちづくりをしていきたい。
(2) 市民活動・ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・ ロコモ対策 ヨガ⇔健康体操だけでは飽きてしまう ・ 芳野まちづくり協議会 行政ができるもの、地域ができるもの→住みわけ、自分たちでできることは自分たちでやる ・ 市民活動団体の普及活発に課題がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアに参加する「きっかけ」をどのようにして提供するかが課題だと感じている。カフェのように自由に人が集まる場所をつくっておくことも一つの方法だと思う。 ・ 除草作業などのボランティアを、面白く、大変でもやっていくと地区がもっと元気になると思う。
(3) 人口減少・少子高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 戸多小閉校 子どもの減少 ・ 空き家の増 過疎 ・ 都会に出た人がUターンで帰ってくるまちづくり！⇔若い人が外に出て行ってしまう＝隣近所も高齢の方が多い ・ 空き家の活用 バリアフリー化(老人) 子どもと一緒に生活→情操面Good ・ 若い人がいない みんな外に出て行ってしまう 子どもがいない ・ 戸多 人口減少 少子高齢化 除草の人力と費用が課題 	
(4) 防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通学路のパトロール実施 ・ 通学路のあいさつ ・ 防犯 見せる警備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちを守るのはもちろん、犯罪のない明るいまちづくりのために、これからも汗を流したい。 ・ 防犯がしっかりしていることが、明るく住みよいまちづくりだと考えている。

分野	模造紙上のメモ	全体セッションでの参加者の感想
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯灯→道路の整備 冬場は暗くなる→小学生の帰宅時→高校生もあいさつしてくれる ・ 通学路の安全⇔子どもの安全 76名の登録 後台地区 ・ 通学路のパトロール ・ 1年通して(月1人 2、3回)76名 ・ 後台中宿210世帯 ・ 防犯 小学生からお年寄りまで参加している お互いを知ることができた ・ 防犯灯 1つの陳情からはなかなか設置はできない ・ 防犯 小学生から高齢者まで全員での活動 防犯灯の設置！ ・ 防犯パトロール 月3回位 ・ 子どもたちへの声かけ！ 大人から！ ・ 高齢者の皆様が沿道で登下校を、自分から声を掛け、見守る活動を実行した ・ 防犯パトロール7、8年 1人月3回(毎日) ・ 学童見守り 立哨だけで可(礼状が子どもから) 	
(5) 交通安全	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通安全 市の活動、署の活動、母の会の活動(小学校の母が発足)→教育活動 茨城ワースト1 ・ 次の代を育てることが課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通安全母の会の活動を地域にも広げていきたいので、自治会との連携が今後の課題だ。
(6) 環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農地の放棄地の増→草刈(農道含む) ・ 環境について 草刈り ・ イノシシ対策について ・ 野生動物→野菜や果物もきれいに取られる！ ・ 那珂市はごみが多かった ・ 市役所跡地 ・ 廃品回収と同じことをしている(ペットボトルはやらない) 一升瓶=20年以上 ・ ボランティアなくて成り立たない！ ・ 再利用できるものはしていきたい！ ・ ゴミ 不法投棄が多い 道路の除草 ・ クリーンクラブ 田んぼ、あぜ路の整備 2時間～半日程 ・ 費用用途 作業日当、お茶菓子代、刈払機、保管費、会議会場費 ・ 里山の整備を地域でできたら最高→地権者の考え方次第 ・ 1年前の講義 石岡の東の辻二部町内会…感動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境整備できれいになれば、住みやすい、みんなが笑顔になれる場がつかれると思う。 ・ 環境の問題を市全体で考えてもらい、それに協力したい。 ・ リサイクルセンターは、燃やすゴミを減らし、オキシダントを減らしたいという考えで活動している。 ・ イノシシやハクビシン等による被害が多く、何とかしたいと思っている。 ・ ゴミや不法投棄が多い。各個人が小さいことから気を付けて、きれいな、住みよいまちづくりを心掛ければよいと思う。 ・ 今日の話の中で出た課題を、なか環境市民会議で作成している行動計画に取り上げていこうと思う。 ・ 住みよさランキング県3位なので、「ゴミが一杯あるね」と言われないように、身近なところからゴミを減らして、花の一杯あるまちにしたいと思う。 ・ 草が生えているような地域では、住みよいとは言えないと思う。

分野	模造紙上のメモ	全体セッションでの参加者の感想
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境保全会 農地改善 ため池の保全 ・ 県の補助で10年継続 ・ 篠が生えてしまって、ゴミが投棄される→篠をきれいにして、ゴミもきれいになった ・ 環境 道路の草が多く不法投棄 解消活動 ・ 住みよさランキング県3位→ゴミだらけではかっこつかないよ！ ・ “ゴミのない那珂市”身近なところから始めよう。各世代から参加、次世代へ継承が大事 ・ クラブ14名で立ち上げ ・ 14ヘクタール 年4～5回 ・ 草刈り、除草するとゴミが少なくなる ・ 補助が出る(面積による) 刈払いする ・ 白河内クリーンクラブ ・ 市道 ・ 耕作放棄地の田畑 ・ 水路除草 その他の作業 13世帯→泥上げも！農家みんなとの協働が不可欠！ ・ 白河内ニ門部 ・ 管理クラブ H28年設立 ・ 額田北部の除草未整備 日常生活 暮らし諸々の課題を 生活環境の整備 ・ 田畑の最終的な維持管理の課題 遺産の維持を 誰に託して死ねるのか ・ 産廃投棄防止 ・ 面積1,000㎡→500㎡ ・ 市補助金 草刈 	
(7) 交通基盤・公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老後不安 通院、買物の交通不安 ・ 市の歩道の課題 未整備 ・ “みちづくり塾”@東海村 行政、市民団体、警察、自治会 ・ 国道には点字ブロックがあり、横断歩道にチャイムはあるが、市道にはあまり整備されていない 	
(8) 土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光発電が多すぎる ・ 太陽光発電の設置 件数が多く景観形成に逆らっているのでは ・ 畑活用法 ・ 土地の活用(住宅地・調整地) ・ 太陽光発電の良い面 悪い面→反射光 	
(9) その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ スマホについて ・ 保育 これから子どもが少ないから大切な仕事 でも大変な仕事 ・ お父さんお母さんを助ける仕事 子どもを教育、育てる仕事 ・ 共働きの中で子どもを育てる 仕事も子育ても家事も ・ みどり会 スポーツに参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の問題点をどのようにすればよいか、周りの友達と話し合っ、みんなで市を良くしていきたい。

2 福祉

分野	模造紙上のメモ	全体セッションでの参加者の感想
(1) 地域福祉・交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食生活推進→出前講座 材料費のみ500円(1人)→聴覚部会の人料理教室をしたい→3ヶ月前に相談→身振り手振りで筆談可 ・ 料理教室 いろいろな人との交流にも(世界の違う人など)→手話サークルでも参加したい→運営側はハードルが高いイメージ ・ 那珂市のみで人材(ボランティア)派遣→金額は発生しない ・ 郷土料理交流→外所属同士の交流→バザーみたいな… ・ 申し込みから決定まで3か月は長い！すぐやってもらえる別チームがあれば… ・ 一人だと誰かとおしゃべりしたいし、コミュニケーションを取りたい そういう場を提供してほしい ・ 高齢者を招いて、家庭科の授業等で補助してもらっては？→実際にモデル地区はある ・ お話がしたい→空き家を使って子どもたちと高齢者との交流の場に！→地域の中の徒歩圏 ・ 触れ合う 核家族→多世代交流 ・ 親と子と高齢者が触れ合う場 おじいさん、おばあさんに教えてもらって、お話を聞いたり ・ 出前→市役所 社会福祉協議会 申請 ・ 申請←役所 ・ 障がいのある方、高齢者、民生委員などの交流の場があると良い ・ 空き家を改良して、学童保育、高齢者交流をしてはどうか 待機児童も ・ ワーキングクラブもある ・ まちづくり 学校の教育 小規模で集まる3~4ヶ月最初だけみてもらって… ・ 地元の人、地域の店、いろいろな人 ・ 農地を貸してよい 土地利用 ・ 学校、空き家の利用 ・ 高齢者と幼児の交流ができれば良い ・ 高齢者と障がい者とのつながり交流を持てる機会があれば いずれ高齢者も耳が遠くなり、足腰が不自由になる ・ 空き家、廃校の利用(学童と高齢者のふれあいに利用しては？) ・ 小規模、地域の中で目の届く所で高齢者も子どももみんなが安心して暮らせる那珂市 ・ バリアフリー ・ 障がいの種類によってコミュニケーションが取りづらい→交流、団体同士のつながり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手話通訳者が来てくれたら、障がい者と一緒に料理教室ができると思う。 ・ 困った人がいたら、助ける、声を掛ける、手を差し伸べる。さみしい人がいたら、一緒に遊ぶ。みんなが仲良く、さみしさを感じさせないまちにできたらよいと思う。 ・ ある都市では、一人暮らしの高齢者に学校に来てもらい、子どもたちにミシンなどを教えてもらっている。那珂市でも取り入れてもらいたい。 ・ 女性会で障がい者と交流を持ちたいと思う。 ・ 健常者、障がい者、高齢者、みんなが集まり、話をする場所を作れたらよいと思う。 ・ 障がい者と一緒に料理教室をしたいと思う。
(2) 高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者クラブ会長 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険料は、使用しなかった分の給付を考えてもらいたい。

分野	模造紙上のメモ	全体セッションでの参加者の感想
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険制度→見直し ・ 適用しなかった人への対応(給付されていない人) ・ 老老介護の大変さ ・ 独居老人(65歳以上)のお弁当→パンフキン→市に申し込んで1回200円で宅配→電話 ひだまりでの申し込みも可 ・ 第1・第3水曜日 ・ 100人以上 22人で作っている 包み紙がきれい ・ 年に2回独居老人へお弁当の宅配(無料) 芳野地区のみ 50~60人分 ・ 介護について 家庭で介護をしている人への手当てが必要→国保などでは施設に入れない ・ 抱え込みすぎて、事件になってしまう心配もある→孤立した家庭ができないような仕組み 便利屋さん(生活支援など) ・ 介護保険制度 お金と労力の無駄の少ない制度にならないか? ・ 高齢者一人暮らしの食事の支度は一番大変 ・ 芳野地区女性会 独居老人65名に届けている(年2回) ・ ナザレ園 窓拭きボランティア ・ 普段の食生活 ナザレ園で届けてもらっている ・ 高齢者クラブの人手不足 ゲートボール、奉仕作業等だけではつまらない 魅力がない もっと何かほかの対策を… 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康な高齢者になりたい。それには、外に出て、人と付き合うことが大切だと思う。
(3) 障がい者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 身体障害者の会(聴覚部会) ・ 何度もやり取りするのは大変 faxならOK →メールのための機器を無料でお渡し? ・ 旅行の予約もできる? →場所の様子が分からないと予約しづらい⇒外に出づらくなってしまう ・ 身近なものをもっと便利に! 誰でも使いやすいものができるとういよな~ ・ 障がい者理解 知的障がいについては分かるが、身体障がいについては分からないので知りたい ・ 手話も最初は分からないため、学ぶのが大変 ・ 手話 恥ずかしいからNGと親から? 東京とかに行けば平気なのに ・ 障がい者との意思の疎通が難しい ・ どうやって意思を伝えるのか? 意思の疎通 ・ 障がいのある方々の何でも相談窓口の実現! ・ 障がい者同士が手をつなぐ! ・ ろう者に理解が少ない ・ まず理解が第一 理解があると、生活しやすくなる! 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者に対する態度について、根本は人と人、命と命ということをみんなで考えなければならないと思う。 ・ 市に提言をしながら、障がい者が安全で安心して暮らせるまちづくりを目指したいと思う。 ・ 手話の会で市民に手話を教え、手話を広めていきたい。 ・ 障がい者の差別問題について、市民に理解してもらいたい。 ・ ファックスでも電話でも、聴覚障がい者に不備がないような発明をしてもらいたい。

分野	模造紙上のメモ	全体セッションでの参加者の感想
	<ul style="list-style-type: none"> ・夜は1人だと不安、さみしい⇔近くに住んでいても(家族でも)夜に呼び出しづらい 	
(4) 子ども・子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・保育科→給料が少ない ・学童クラブ 本当にありがたい ・家庭教育学級(年4回実施) ・木崎の1年生対象 	
(5) 保健医療	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活推進員 ・成人病予防の料理 ・食改 子ども食→学童、小学生、幼稚園 成人食→成人の人(健康教室) 高齢食→高齢の人(男の料理) 老人施設→料理 出前講座(社協に)→材料費のみ 	
(6) 生きがいづくり・社会参加	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティカフェ 障がいを持つ方、高齢の方の働く場→人が持つ能力を活かす場所があると良いよね ・空き地の活用にもつながる ・農地→収穫の楽しさを世代を超えて楽しもう→お祭りの時などに販売する→那珂市以外でも ・生きがいの持てる社会 	
(7) その他	<ul style="list-style-type: none"> ・芳野女性会 ・なす部会 直売所(鴻巣)に出している 値段は自分で ・不耕作農地に困っている ・自分たちでつくった野菜を自分たちで値段を考えて売る ・ひまわりタクシー 車の運転ができない人は助かる→1回市内300円、券を買う、市役所、タクシー会社 ・不耕作に持て余している ・ひまわりタクシー 便利 ・でも市内のみ もっと拡大してくれると助かる ・イエローシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者と健常者の交流の場を見ることができ、いろいろな意見を聞いて勉強になった。 ・これから障がい者や社会とかかわっていくので、そこから学べるがあればよいと思う。

3 文化・教育

分野	模造紙上のメモ	全体セッションでの参加者の感想
(1) 学校教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校給食 メニューは良い 量が少ない ・ 食事時間が短い ゆっくり食事できる工夫を ・ 部活のあり方は？ ・ 部活は絶対(強制)参加→部活の時間短縮 ・ 校則を正確に！ ・ おかずによって量が少ない！ ⇄お皿の数が多い、少ない ・ 食育って言っているのに！ →時間も少ない！ →委員会があると15分とかで食べている？！ ・ 学校はいろいろ活動があつて忙しい ○ ○教室 ・ 子どもたち同士をつなげること←活動・クラブ・サークル(地域活動) ・ 中学校同士の横のつながりが欲しい ・ 何で一中だけ女子は髪を2つしばり？ ・ 給食 食の多様性 	
(2) 家庭教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3～6歳に多様な経験をさせること スポーツも文化も ・ 親は文化活動よりスポーツに目が行く ・ すぐに結果の見えるスポーツ等ばかりではなく、将来の人間像を念頭においた子育て ・ 親が子育てを知らない？ 周囲の人の助言が少ない ・ 沼が危ないからダメ！ではなく、沼がどういうものかを知ることが大切 ・ スポーツと文化の教育をバランスよく、どちらの体験もさせたい ・ 多様な体験(教育) ・ 今の子どもたちはすごく忙しい！ →部活や習い事←そこまでやらなくてもいいのでは？ ・ 忙しすぎる 今は遊んだ方がよい！ ・ 学校に任せきりではなく、家庭教育！ ・ 子どもの遊び方がゲームやパソコン 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親自体が偏食するので、それが子どもにも影響してしまう。 ・ 子どもの教育に対しては、親は文化活動よりもスポーツの方に目が行っている。 ・ 親は、スポーツでも文化でもバランスよく子どもに経験させることが大事だ。一方に偏ると、人間として生活する上で、社会の変化に対応できないのではないかと感じた。 ・ 家庭教育、社会教育、学校教育の三者が一体となった教育を活発化させればよいと思う。
(3) 地域・団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 華道 生け花の花を学校の園芸クラブに育ててもらう ・ 4年生以上はクラブ活動(月2回) ・ 1年間継続可 ・ 日本の伝統文化を小学校の総合の時間に体験できたら良い ・ 体験することは重要 ・ 学校で文化体験！ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校に茶道クラブを作ればよいと思う。 ・ 茶道部として、授業に出張すればよいと思う。 ・ 子どもたちをつなげていく場、つながりを発信できる場があると、もっと良くなると思う。 ・ 地域のつながりが深まればよいと感じた。 ・ 「シェア金沢」という全国的に有名なコミュニティがあるが、それに近い活動ができるのではないかと思った。 ・ 1年に1度くらいは、小中学校で茶道などの日本文化を教える時間があればよいと思う。

分野	模造紙上のメモ	全体セッションでの参加者の感想
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土曜午前中 授業で総合の時間？ ・ 放課後の体験？ ・ 活動には、いろんな制約が…→人を増やしすぎても見切れないし ・ 窓口は？ 子どもたちに経験 気楽に楽しく ・ 出前教室 学校活用 クラブ ・ 4年生以上 ・ クラブ活動を利用する ・ 地域の人にも学校の給食を食べてもらい、いろんな意見をもらう！→行事で外に行っているときなどに周辺の人に食べてもらう？！ ・ 中学校に茶道や華道とかを教えに来てほしい！小学校も ・ 言ってくればできるよ！（茶道）→体験学習→子ども よかったら、楽しかったら続ける ・ 子どもと大人 地域の人たちがかかわり 地域づくり、まちづくり→心づくり 大切 ・ 人は地域の宝である ・ 学校という場を利用←地域で文化教育 ・ 茶道 出前やっています（文化）学童・子ども会～体験 ・ 気軽に茶道みたいなのを ・ 子どもに文化体験 ・ 市民活動と学校の教室 ・ 学校と地域と保護者の三者で子どもたちを育てていく ・ リタイヤした人たちのキャリアを教えてもらえたら良いと思う ・ 日本から外国に日本の文化を教える前に日本教育を小学校のうちから取り入れたらどうでしょう 例として、お茶、着物 ・ 家庭教育 学校教育 社会教育 キャリア教育→外部教育（外部者の講師） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ リタイヤした人たちが社会で勉強してきたこと、身に付けてきたことを子どもたち教える場所を提供できたら、もう少し違う教育ができると思う。 ・ 市内には、エキスパートや資格を持つ人が多くいるので、キャリア学習をさらに市の教育に取り上げればよいと思う。
(4) 生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 茶道人口の減 ・ どうしたら継続？どう伝えるか ・ 華道人口の減 ・ 現実でやっていることをどう続けて行くか ⇄無理をしない程度にやること！ ・ 生涯学習としてどのように伝えていくか ・ 吹奏楽～忙しい ・ 絵本の読み聞かせ 子どもも楽しんでくれる ・ 好きこそものの上手なれ ・ お花の子ども教室→年配の方が興味もってくれる ・ お花 ・ アレンジメント（プラスのさし方） ・ 生け花（マイナス＝引く） 	
(5) スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・ スポ少 ゴールデンエイジ（適時適切な活動） 	

分野	模造紙上のメモ	全体セッションでの参加者の感想
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴールデンエイジ 9歳～12歳 一番体を動かす大事な時 ・ ひまわりスポーツクラブ(市全体での取り組みが必要ではないか) 	
(6) 青少年育成	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガールスカウトの目的 自立した人格を育てる 100年 ・ 小学 中学 高校 大学まで ・ ガールスカウト⇔人間教育→テストで100点とかではなく、人間としての成長→女性性は女性らしく 自立した女性 ・ ガールスカウト 老人ホーム訪問 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちが立派に成長してほしいと思い、ガールスカウトの活動を行っている。
(7) 歴史・伝統文化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの活動→郷土活動 地域に目が向く ・ 子ども=習い事が多すぎる 学校で学ぶことができないことを知りたい 体験→郷土教育の実施(那珂市の貢献者を知る) ・ 水運があったので、額田で教育や文化が栄えた 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域を知ることは大事なことだと思う。市でも、もっと情報発信の方がよいと思う。 ・ 根本正顕彰会の活動を広く広報してもらい、関心を持ってもらえるようにしてほしい。
(8) 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中学～国際交流 ・ 日本文化の普及には国際交流の活用 ・ 外国人は良く勉強している 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 茶道や華道などの日本文化を大切にしてい、小さいときから携わるような環境があれば、留学や出張をしたときに、外国人とのコミュニケーションが深まると思う。
(9) その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ ありがとう貯金 誰から言われたか ・ 動員が難しい ・ 特に中学校 学校の運動会での飲酒はありえない ・ 注意しにくいし、校内禁煙はなくなっているが、禁酒はなくなっていないのはなぜ？ ・ 授業参観 大人がうるさい ・ 小さい子のDSの音も聞こえてしまう 集中できない！ ・ 車の信号無視危険！ やめて！ ⇔特に通学路⇔犬のリードなしの散歩 ・ 9歳 茶道 ・ 6歳 子育て ・ プレイパーク 身体を使って創造性を育む ・ 菅谷は都会！ 便利！ ・ 情報社会 検索すれば分かるけど、“ガラケー”の人は情報が取れない=コミュニケーションが少ない ・ 動員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの話を中心に、話を共有できて良かったと思う。 ・ 自分が思っていることと全然違うことを大人は考えていると思った。 ・ 自分の意見をはっきり言えて良かった。 ・ 華道は動員数が悪いので、今日得たアイデアを早速実行したい。 ・ 動員がとても大変だ。 ・ 自分の子育ては終わったが、若い人のこれからの子育てに役立ちたい。 ・ どんな団体も人を集めることは大変だ。 ・ 活動に参加するにしても、受け身ではなく、自ら進んで参加する人が多くなれば、いろいろな場が楽しくなると思う。 ・ 様々な話を聞いて、学んだことも多くありました。

4 産業

分野	模造紙上のメモ	全体セッションでの参加者の感想
(1) 農業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 契約栽培 ・ 農業法人化→契約が取りやすい 農業何人かで集まって大きく土地を耕した方が儲かる 多くの種類を栽培していれば時期が違う ・ 卸す先は直売所がメイン ・ 地産地消→スーパー JAで買う 食べる分は自分で作っている?→なかなか出せない ・ 実習の場が欲しい 田植え体験 やってみないと分からない ・ 米作りは儲からない←コストを下げると良い? ・ 後継者問題 ・ 機械が高い ・ 昔は市場に出す 今はネットを利用して直売 ・ 那珂市の地を活かした農業はできないのか?→都会からも近いと考えられる?→県南にもあるから県北は近くない? ・ 農家が儲からないのは団結力がないから?→ご近所の人しか知りあえない 横のつながりづくり=後継者クラブの存在 ・ トラクター→50万円UP?! ・ 消費者が選べるように…→どこでも、どの物でも買えるようになった→安い物を求める→景気が悪い ・ 農業も儲かるようにしてほしい! ・ 10年後の後継者の数 減少 ・ 儲かる農業→消費者との直接取引 ・ 農業は簡単そうに見えるけれど、天候に左右されて大変である ・ 便利→便利すぎる⇔那珂は農業以外の選択肢があるから、農業(家)にならない ・ 大変・売れない→やめてしまう人が多い ・ 自分たちで工夫して、アイデアを出していく必要がある ・ 後継者が必要→普段農業だけでは暮らしていけない エネルギーが必要 普通農家だけではやっていけない ・ とんがりはっと ・ 農業にプラスアルファ 組み合わせ 農民宿とか? ・ 農業をやる人を増やすためには→農業をやる人に補助? ・ 色んなイベントをやってもなかなか広がっていかない いろいろなことをやりたいけど… 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 魅力ある農業をしている人には、後継者がいると思った。 ・ 消費者と交流できるような農業体験施設があればよいと思う。 ・ 何かのついでに立ち寄れるような拠があれば、もっと発展すると思う。 ・ 小中学生の体験は、若い力でできればと思う。 ・ 農業の後継者問題が印象的。小中学生に体験させたり、今回のような話し合いや意見を述べる場を設けたりすれば、興味を持ってもらえると思う。 ・ 農業は、後継者問題で大変だから、株式のような組織にして、資金を出し合って、設備投資をする体制にしてはどうかと提案した。 ・ 農業に興味を持ってもらうために、小学生に田植え体験をさせたり、収穫祭をやったりして、どのようにしてお米ができるかを体験させることが大事だと思う。

分野	模造紙上のメモ	全体セッションでの参加者の感想
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拠点が欲しい←何かの用事のついでに寄れる ・ 加工はできない？(資金がいる)→加工場とか→6次産業化することは？ ・ 農業でも跡継ぎにさせない家が多い(問題は普通農業では暮らせない) ・ とんがりはっとの構成員の年齢を見ると、10年先の問題が見える 	
(2) 商工業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工業団地 ・ 独立の大変さ ・ つながる強さ ・ 会員の減少 ・ 労働力 ・ 継続するための資金 ・ 会員数→商工会1,000人 ・ 後継者→青年部は厳しい ・ 起業が… 	
(3) 雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広く市のサポートがもっとほしい→行動が後手になりがち 市の魅力UP！働く場の創造 ・ 大学を卒業しても大宮の方へ行ってしまう ・ 地元で働く場がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の人が地元で働ける場所を増やすことが一番だと思う。
(4) 観光・特産品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道の駅が欲しい ・ 那珂ICの近辺を利用したい(物流はどうか？) ・ イベントが少ない ・ パパイヤー→ジュース 漬物 ドレッシング ・ 苗木を植える体験 収穫体験 ・ 道の駅やイオン ・ 那珂市には「特産物」がない ・ 那珂かぼちゃは特産物ではない？ ・ 商業×農業がコラボできるか？→6次産業→ひまわりオイル ・ ブランド化 やり方が大切！ブランディング ・ 何もないことを嘆いているだけではだめ→仕掛けづくり→恵方巻きだってPRの仕方次第で一気に盛り上がった ・ 各々の団体がまとまって働きかける→仲間を探しているいろいろやろう！ ・ Look！ 七運野菜 ふるさと納税 七運野菜なベセット 地元の野菜←プロジェクト推進委員会の立ち上げ？！←地元根付いたストーリーと組み合わせることで売り出し 何でもやってみる！ ・ 七運フェア→冬至の時に食べる七運(野菜)を食べる⇔なぜ周りの人がのらないのか？→周りの地区の人も呼んで ・ 那珂市のウリって何？ 便利 何でもあるパツとするものがない ・ 分かりやすい魅力がない ・ 常陸太田 ぶどう そば たくさんある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 七運物語フェアで、七運野菜鍋のようなものを考えて売る。次につながれば、七運野菜として売り出す。農業はアイデア勝負かなと思う。 ・ 商工会青年部と農業後継者クラブがそれぞれの得意分野を活かし、連携を取りながら、那珂市をPRするようなものができればよいと思った。 ・ 商工会青年部だけではなく、農業後継者クラブと連携を取ればよいと思った。

分野	模造紙上のメモ	全体セッションでの参加者の感想
(5) その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減少 安定 ・ カルビー ・ 家が固まっている ・ 地場産業 ・ 産業のコレ！というものがない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 那珂市は住宅地としての魅力があり、安心できるところがあるので、私たちの意欲が欠けるのかと反省した。 ・ 農業の問題点や「こうしていきたい」という気持ちが聞けて良かった。 ・ いろいろな人から話を聞けて、刺激を受けた。 ・ これからは、アンテナを張って、意見を取り入れて、自分なりに考えていくことも必要だと思った。